

1. 調査報告概要表

【認知症対応型共同生活介護用】

作成日 平成20年5月7日

【評価実施概要】

事業所番号	2775201003
法人名	なにわ保健生活協同組合
事業所名	びろうじゅ高倉
所在地	大阪市都島区高倉町2丁目3-4 (電話) 06-6929-0012
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 20年 4月 16日

【情報提供票より】(平成 20年 3月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18年 3月 1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	8人	常勤 3人, 非常勤 5人, 常勤換算	7.8人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	2階建ての	1階 ~	1階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	59,000円	その他の経費(月額)	35,000円	
敷金	有 (180,000円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (180,000円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,200円			

(4) 利用者の概要 (平成 20年 3月 1日現在)

利用者人数	9名	男性	2名	女性	7名
要介護1	4名	要介護2	1名		
要介護3	3名	要介護4	0名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 86歳	最低	78歳	最高	93歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 尽生会 聖和病院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地域福祉を実践する生協法人が運営するグループホームで、近隣に同一法人が運営するクリニック、訪問看護のほか各種の介護保険サービス事業、配食サービス事業があります。「(要旨) 認知症についての正しい理解及び介護サービスについての専門的な知識と技術を持つ職員によって一人ひとりの状況と希望に合わせたサービスを提供していきます。個々を大切に、家庭的な雰囲気の中でなじみのある人間関係を形成し、不安を感じることのないよう、さりげなくかつ暖かいサポートにより毎日が実りある生活になるよう支援をします。個々の生活歴を大切に、個々に適した取り組みを提案し、残された機能の能力低下防止に努めます。」をホームの理念として掲げ、利用者が安心してその人らしい生活を続けられるよう家族、職員、地域住民と共に支えています。職員は利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向に沿うよう支援し、やさしい雰囲気で接しています。同一法人のクリニックの医師と訪問看護ステーションの看護師との医療連携により、利用者に必要な医療と看護を提供しています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況 (関連科目: 外部4)
	前回の外部評価で示された事項について、改善が進んでいます。玄関ホールに手芸作品や押し絵を飾り、玄関口に椅子を配置して訪ねやすい雰囲気にしています。月例の定例会議を開催するようになり、ケース検討も行い、職員間の意思疎通ができやすくなっています。申し送り書類に職員の確認サインがされるようにもなっています。日中は玄関の鍵が外され職員の見守りだけで対応できるようになりました。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	自己評価については、管理者は職員と議論をしながら完成させ、認識の共有化を図り、サービスの具体的な改善に取り組もうとしています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
	運営推進会議は地域包括支援センター職員、地域の代表、ホームに来てくれるボランティア等の地域住民、家族の参加のもとで、4ヶ月毎に開催しています。会議ではホームの活動方針や運営状況、行事、利用者の生活ぶりについて説明し、ボランティアの増やし方や地域との交流を盛んにする方法等について意見を交わし、地域との相互の理解を深めています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
	家族との面会時には、利用者の生活ぶりや連絡事項を伝え、利用者の医療や安全に関わる事項については、必要の都度電話で家族に報告しています。訪問の少ない家族には管理者が自宅訪問し報告をしています。月に1回、行事の写真も載せた便り「びろうじゅ高倉の輪」を家族に送付しています。家族とは面会時だけでなく、介護計画作成の時にも話し合い、家族が思いや希望、不満を表せるように対応しています。季節毎に家族も参加する行事を開催し意見交換をしています。意見箱も設置し、家族が意見を表せる機会を設けています。
重点項目④	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	運営推進会議を契機に町会長の紹介で、地域の敬老会や夏祭りに参加しています。地域からは歌体操、大正琴、朗読、園芸、手芸、メイク、マッサージ等のボランティアがホームを訪ね、利用者とともに楽しい時間を過ごしています。中学生の体験学習の受け入れや幼稚園児との交流も近々予定しています。

2. 調 査 報 告 書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「(要旨)認知症についての正しい理解及び介護サービスについての専門的な知識と技術を持つ職員によって一人ひとりの状況と希望に合わせたサービスを提供していきます。個々を大切にし、家庭的な雰囲気の中でなじみのある人間関係を形成し、不安を感じることはないよう、さりげなくかつ暖かいサポートにより毎日が実りある生活になるよう支援をします。個々の生活歴を大切にし、個々に適した取り組みを提案し、残された機能の能力低下防止に努めます。」をホームの理念として掲げ、利用者が安心してその人らしい生活を続けられるよう家族、職員、地域住民と共に支えています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	年間の事業計画や月例の職員会議、毎日の業務等を通じて理念を共有し、理念に沿った介護サービスの実践に取り組んでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	運営推進会議を契機に町会長の紹介で地域の敬老会や夏祭りに参加しています。地域からは歌体操、大正琴、朗読、園芸、手芸、メイク、マッサージ等のボランティアがホームを訪ね、利用者とともに楽しい時間を過ごしています。中学生の体験学習の受け入れや幼稚園児との交流も近々予定しています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価で示された事項について、改善が進んでいます。玄関ホールに手芸作品や押し絵を飾り、玄関口に椅子を配置して訪ねやすい雰囲気になっています。月例の定例会議を開催するようになり、ケース検討も行い、職員間の意思疎通ができやすくなっています。申し送り書類に職員の確認サインがなされるようになっています。日中は玄関の鍵が外され職員の見守りだけで対応できるようになりました。自己評価については、管理者は職員と議論をしながら完成させ、認識の共有化を図って、サービスの具体的な改善に取り組もうとしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は地域包括支援センター職員、地域の代表、ホームに来てくれるボランティア等の地域住民、家族の参加のもとで、4ヶ月毎に開催しています。会議ではホームの活動方針や運営状況、行事、利用者の生活ぶりについて説明しています。またボランティアの増やし方や地域との交流を盛んにする方法等について意見を交わし、地域との相互の理解を深めています。	○	運営推進会議は年6回、もしくは概ね2ヶ月に1回開催することが求められます。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	区の地域包括支援センターや社会福祉協議会の職員とは常に相談や情報交換を行っており、サービスの向上に取り組んでいます。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族との面会時には、利用者の生活ぶりや連絡事項を伝え、利用者の医療や安全に関わる事項については、必要の都度電話で家族に報告しています。訪問の少ない家族には管理者が自宅訪問し報告をしています。月に1回、行事の写真も載せた便り「びろうじゅ高倉の輪」を家族に送付しています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族とは面会時だけでなく、介護計画作成時にも話し合い、家族が思いや希望、不満を表せるように対応しています。季節毎に家族も参加する行事を開催し、意見交換をしています。意見箱も設置して、家族が意見を表せる機会を設けています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の退職はほとんどなく、同じ職員が利用者と接し支援しています。新人職員の採用時研修も計画的に実施されています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は職員の育成教育に熱心で、外部研修や内部研修に積極的に参加させています。職員は半年毎に各自のチャレンジ項目を設定し、達成状況を自己評価して上司に報告する制度があり、ステップアップを目指し努力しています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内で定期的に認知症ケア会議を開催し、グループホームやデイサービスに従事する職員が認知症の事例研修を行っています。隣接区のホームとの情報交換もしていますが、認知症高齢者グループホームのネットワークに加入し、相互研修を実施することが望まれます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者の入居前には、職員が家庭訪問を行ったり、利用者や家族がホームに来院したりするなど、家族や本人の不安を取り除き、安心して入居、サービスを受けられるよう取り組んでいます。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	職員は利用者と共に過ごし、学び支えあう関係を目指した支援を行っています。元学校の先生や食堂に勤めていた方、編み物や裁縫の得意な方等利用者の経験や得意分野を活かし、家事や行事の機会を通して学び支えあう関係を作っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時の家族や利用者からの情報だけでなく、その後の毎日の生活を通じて得られた利用者の思いや意向の新たな気づきを記録・整理し「個人別レクリエーションリスト」としてまとめ、日々のケアや暮らし、楽しみに活かしています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の現在の暮らしや願い、心身の状況を把握するとともに、医師や看護師の意見、家族の意向を反映させ、介護計画を作成しています。また1ヶ月毎の重点実施目標を「1ヶ月目標」として定め実行しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は定期的には6ヶ月毎に、また状態の変化がある時はその都度見直しを行っています。「1ヶ月目標」の実施結果を月例のケース検討会議（職員会議）で検討し、詳細に援助項目毎の評価を行い、介護計画の見直しにつなげています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	同一法人のクリニックの医師と訪問看護ステーションの看護師との医療連携により必要な医療と看護を提供しています。ホームは必要の都度通院介助も行っています。地域のボランティアの支援も受けています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	法人クリニックの医師による往診医療を受けていますが、診療科目によっては入居以前からのかかりつけ医療機関に引き続き医療を受けています。協力病院と連携し、夜間や急変時の対応についての体制も整備されています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に、ホームでの看取り実施の指針を伝え、家族に説明し同意を得ています。状況の変化とともに、利用者と家族、医師、ホームとの話し合いを行いながら対応していく予定です。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを人生の先輩として尊重し、職員の言葉かけや態度は明るく丁寧で、やさしい雰囲気です。職員は採用時に個人情報の取り扱いについて法人と書面を取り交わしています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムに配慮し、利用者のペースでゆったりと暮らせるよう支えています。職員が利用者を制止したり、急かしたりする言葉はなく柔軟な対応をしています。入浴や食事の時間については柔軟に対応し、楽しみや気晴らしについても利用者個人の「レクリエーションリスト」に従い、個別の希望にそって支援しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	通常、同一法人の配食センターから調理済みの食材を取り寄せ、ご飯と味噌汁はホームで準備しています。利用者は食事準備、味噌汁用の野菜の下ごしらえ、盛り付け、後片付け等の一連の作業に得意な分野で積極的に参加しています。朝食と日曜日の夕食は希望の献立で、買い物から調理まで利用者也参加し楽しんでいきます。またホームの菜園で収穫した野菜を使うこともあります。職員は利用者と同じものを食べながら、利用者の食べ方の混乱や食べこぼしに対するサポートをさりげなく行い、会話をしながら楽しくなごやかな雰囲気を作っています。利用者と共に外食する機会もあります。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は1日に3名ずつで固定し、利用者は3日に1回、通常週2回の入浴を楽しんでいます。	○	利用者が週に3回はゆっくりと寛いで入浴できるよう、体制整備と雰囲気作りが求められます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者は一日の生活の中で家事にそれぞれの役割を見つけ、分担し合いながら張り合いのある生活を送っています。利用者が共同で季節毎の花などの自然や風物、行事を表現する大型の壁飾りを作ったりしています。漢字や計算の練習、編み物、テレビでのプロ野球観戦、ボランティアとの歌体操、大正琴、園芸、手芸、メイク、朗読等を楽しんでいます。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	周辺の町や公園への日常的な散歩のほか、大型スーパーでの買い物や食事を楽しみ、喫茶店にも行っています。家族と一緒に外出し食事をする機会も多くあります。季節の花や風物を楽しむ外出もしています。4月からは利用者の誕生日に、本人が希望した所へ出かける企画を実施する予定です。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	前回の外部評価で示された施錠について、現在はフロアドア、玄関扉とも日中開錠しています。外出希望のある利用者にも見守りにより対応しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害に備えるマニュアルは作成していますが避難訓練は実施していません。非常・災害時の食料品と水の備蓄についても行っていません。	○	災害対策のマニュアルに従って、年2回の避難訓練をすることが求められます。また非常・災害時のための食料品や水の備蓄をすることが求められます。備蓄については「非常用備蓄マニュアル」等の取り決めを作成してはいかがでしょうか。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の食事摂取量と水分摂取量を把握し記録しています。栄養バランスについては、同一法人の配食センターの管理栄養士のアドバイスを受けています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関口には手芸作品や押し絵が飾られ、椅子もあって訪ねやすい雰囲気になっています。リビング兼ダイニングルームは、明るく、開放的なスペースで、菜園で育った季節の花の生け花が飾られています。周囲の棚には生活道具や盛り沢山のレクリエーション道具があり、壁には季節感のある貼り絵や手芸作品、行事写真が飾られ、生活感のある家庭的な空間になっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>各居室には、利用者が和ダンス、整理ダンス、旅行に出かけた時に買い求めた民芸品を飾った棚、籐椅子、テーブル、テレビ、時計、花、囲碁の書籍、漢字の本、百科辞典、手作り手芸作品、お孫さんの作品、家族の写真等使い慣れた馴染みのある物を持ち込み、落ち着き安心して生活できる空間になっています。</p>		